

平成26年度
第2回 帯広市スポーツ推進審議会
議事録

日 時 平成26年9月18日(木) 18:30~20:00

場 所 帯広市役所10階 第5A会議室

出席者

会長	小柴 満	帯広市体育連盟
	川岸 仁	帯広市体育連盟
	森田 精一	帯広市体育連盟
	武士沢康夫	帯広市体育連盟
	高橋 弘史	帯広市PTA連合会
	細岡 和幸	帯広市青少年育成者連絡協議会
	守谷 仁利	帯広市保育所(園)父母連合会
	川上 義史	帯広市医師会
	林 忍	教育委員会指名
	増田久美子	教育委員会指名
	熊谷 操	一般公募
	酒井 國夫	一般公募
	仲村 晋	一般公募

欠席者

	川口 文恵	教育委員会指名
	佐藤 るみ	帯広市スポーツ推進委員協議会
	中井美津子	帯広市老人クラブ連合会
	村田浩一郎	帯広畜産大学

○事務局：敦賀室長、西尾主幹、川原育成主査、永田主査、高橋主査、千葉主任、豊田主任補、高橋主任補、水上係員、服部企画総務課長

1. 開会

18:30

西尾主幹の司会により開会する

2. 会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・小柴 満

3. 報告事項

(1) 帯広市教育基本計画の中間点検（見直し）について

服部企画総務課長から資料1に基づき説明する。・・・・・・・・・・服部課長

<質疑>

特になし

(2) 帯広市新総合体育館基本計画中間報告について

事務局から資料2に基づき説明する。・・・・・・・・・・高橋主査

<質疑>

委員：各地の大きな体育館では、観客は土足、外靴のまま入れるのが通常で、選手は履き替えて、入口を設けるといふようなところが、ほとんど施設でそうなっていると思えますけど、帯広の方ではその辺のところはどのように考えていますか？

PFIを導入された場合、例えば今、民間委託も結構サービスが悪い状況、色々な声が聞こえてくる。中学校体育連盟では、これまで減免で調整してきたが、お金がかかるようになった。現在、札幌で全国大会の準備をしているが、道立の施設が減免対象にならないということで、民間運営の中でそのようなことが起きることが考えられないでしょうか。

事務局：一般的な利用をする時と大きなイベント的に利用する際は体制を変えなければいけないと考えているところです。

実際に一般の観客の方や、それから選手の方との動線、それも含めて検討中ということで今のところのご理解いただきたいと思います。

委員：今日、初めて2階部分に可動式の観客席を設けて多目的に利用するというお話を聞いて、そういう部分では土足にすると不都合ではないかと思いつつ、ただ、観客の利便性やイベントする時の混雑を考えたら、入口で靴を履き替えると詰まってしまう。そういうのを含めるとその辺、どういう兼ね合いになるのか、2階席を多目的に使えるという発想は特に、その辺の兼ね合いを考えていただきたいと思います。

委員：8ページのイメージ図となっている可動式の椅子の件で1階は主に収納の間、壁に寄ってきているっていうように見える。2階が逆に観覧席の前の方に出てきているというのはちょっといただけないのではないかと。逆の壁際にね、行くような形をとらないと、観る方に関してこれは障害になるっていうように見える。作り始めてからの形になると思いますけれども、その辺のこと、どのように考えていますか。

事務局：可動席そのものは、そのまま動きます。明治北海道十勝オーバルに1階可動席がありますが、あれよりも今、軽量でできるようになっています。このイメージ図では観覧席側に観覧席というか体育室側になっていますけれども、壁際の方もですね、動けるようなものではありませんので、設置場所については検討して参りたいと思います。

委員：災害時の避難場所という形をとるといふ形で、最初から言われていたと思いますけれども、今、帯広で大きい災害あるとあそこが一番危険ではないかなと思います。実際一番低いところですし、水が溜まりやすいですし。ですから、どちらかというと、

あそこに持ってくのが本来、本末転倒なのかなと。

今、予測外のことがいっぱい起きている時代ですから、どちらかという、もっと高いところに持って行った方が本来的にはいいのかなと。今頃言って申し訳ないですけども、あの、どちらかという、そうした方がいいのかなと。どちらかという、川っぷちに逃げるっていうのは本来あり得ない話だと思います。

ただ、最初に出たころには、あまり災害がそれほどなかったものですから、あまり気にしてなかったんですけど、最近、こう土砂崩れだとか、色々、川の氾濫なんか見ていると、もしかしてあそこが一番危ないかな、帯広市で一番危ないところ、避難場所にしている、後で何か言われなかなと、いう単なる、ちょっと変な心配事です。

おそらく、堤防が破壊された時には、体育館全部飲まれてしまうと思いますので、アウトかなと思いますけれども、もし、まあ、まずはないとは思いますが、まずはないということで、皆さん災害が起きているんで、ただそれだけです。

事務局：現総合体育館は、地震のときの避難場所に指定されています。

最近、市の防災部局の方で作りました、帯広市の防災MAPによると、総合体育館の現場所が、2m～5mの浸水範囲に入るということで、出されました。

我々もそれを受けてですね、どういった形にするかっていうのは検討の最中ということで、防災の部局とお話し合いをしながらですね、どのようにして行くかということをもとめて行きたいと考えております。

会長：まだ決定ではないということですね？

事務局：総合体育館ができる前に水害が実際に起きていて、昭和30年代、それから昭和56年にあの、十勝川堤防があと1mってとこまで来ました。幸い、それ以降はないのですが、いつ起こるかかわからないという想定では、どうしたら良いかということはありません。ですから、そういった部分では最低どういったものを用意しておくのか、検討して参りたいと思います。

委員：アーチェリー場は2階の観覧席のところにできるのですか？

1階の座席のところですか？

事務局：まだこれは確定ではありませんけれども、先ほど、観覧席を収納した場合の、多目的に利用できるというようなどころではですね、そういった部分で利用できないかということで検討しております。

委員：8ページの(2)の観戦機能の中で、サブアリーナについて、主な利用は、練習になるということで、観覧席は設けないと書いてあるんですけども、大会等でやる場合にはこういった施設の会場は、コートにする場合に小さくても構わないので、2列3列なりの観客席があった方が利用価値がすごくあるのかなっていう風には思っております。その辺りどうでしょうか？

それとメインアリーナの観覧席は、360度ぐるーっと回るっていうようなものをイメージされているのか、それとも、こう一方というか、どっかが抜けている状態なのなのか、お考えがあればお聞かせ願います。

事務局：サブアリーナの観覧席については、今検討中でありまして、まずはギャラリーとして、4本になるのか2本になるのかちょっとわかんないですけども、配置を今考えておりまして、そこには大会の時には座れるような形にはなるかなと。ただ、2列3列の観客席になるかどうかはですね、ちょっと配置を考えてみないと、なかなか決定できないかなというところなんです。それから、メインアリーナの観覧席については、あの、私どもで今、想定したいのは、あの四方ともですね、観客席で回したいとは思っておりますけれども、これもあの、全体的な施設配置で、二方ということにはならないと思っておりますけれども、三方になるのか四方になるのか、というようなところでは考えていきたいという風に考えてございます。

委員：施設の中でないんですけども、まあ、おそらく無理かなと思うんですけども、例えばあの、新しいところではプロジェクターのような、ありますよね、掲示板ですか、スクリーン、動画も写せたり、選手名簿がこう、写ったりするような、そういうものは考えてないですよ？高価ですよ？

事務局：何とも今申し上げられないですけども、検討材料にはなっているというのはあります。

委員：9ページの幼児体育室についてなんですけども、あの、子どもたちが遊びながらこれ、いられるというのか、体力づくりができるアスレチックを配置、こういうお部屋があるというのはすごくいいな、うれしいなと思ったんですけども、こういう、ここには指導員はいらっしゃる予定なのでしょうか？どういったお部屋でしょうか？
今、外にいてですね、あの公園行ってもなんか、危ないものはだんだんだんだん取っ払っている時代なので、あの、安全…安全っていうか指導員を置いて、そのアスレチックがあるというのはすごくいいことだと思います。それで、本当に小さい子が遊んで体力づくりとかそういう場所が今ないので、だからこれは、こういうのはとってもいいことだと思いますけれども、どういうイメージでそのアスレチックを置くようなイメージなのかちょっと聞きたいなと思ったんですけども。

事務局：今回は、居室の配置をするために必要なものを列記しています。それをソフト的にこう、人為的な段階でどうしていくかについては今後の検討になって参ります。いずれにしても参考意見として、検討させていただければと思います。

委員：先日、札内のトランポリンの体育館見ってきました。本当に遊びながらこう体力がつくっていか、体幹が鍛えられるし、とてもいい施設だと思いました。

ああいったこう、壁を登ったり、ああいうのがあったらとてもいいなと思ったので、もし参考にさせていただいたらうれしいなと思います。

事務局：どこまで可能かはちょっとまだ何とも言えませんけども、参考にさせていただきます。

委員：トレーニング室は、使用方法やアドバイス、行うっていうようにインストラクターなり、トレーナーなりを配置するのかなと思うのですが、実は今のお話で、私もちょっと、バスケットボール協会をお手伝いしていて、参加を躊躇するのは、お子さんがいられて、面倒みてもらえれば、スポーツできるという声をよく聞きます。

幼児のところ、保護者がつかないやできないとなると、子どもは育てられるけど、

家庭婦人の方がスポーツを何かしようっていう時に、託児室で平衡してアスレチックなどで係の方がいて預けられれば、もっとスポーツ人口は増えたりするのかなと日頃から感じています。

私も、ママさんバスケットを手伝う時は、子守役をしています。そんなようなことを可能な範囲でご検討いただければと思います。

会 長：難しいでしょうけどね。これもあの、この新体育館だけでなく、おそらく、色んな施設で必要なことかなと。あの、実は私もあの水泳やるものですから、プールでもやっぱり言われています。お母さんが自分で泳ぎたいと。それで、地域の行事の子どもさんをどこかで預かってくれないかとか。それがあつたらいいねえと言われているけど、難しいでしょうねえ。

言うつもりはなかったんですけども、まあ、それも参考にさせていただいて考えてくださいってことでよろしいでしょうか？

委 員：幼児体育室については、50㎡じゃまるっきり何もできないと、何も置けないと思います。7×7位ですよ。だから、どちらかかという、託児室にしておいて、託児所みたいな感じのものを、ただ体育室として名前をつけているだけくらいの広さしかないんじゃないかなと思います。

20畳ぐらいの部屋ですから、託児所とあの、名前変えておいた方がまだいいのかなと思ってしまいました。

委 員：せっかくなので、広い体育室を作ってください。

会 長：ま、それもそういうことで、検討していただくことでよろしいでしょうか？

この件についてはですね、おそらく色んな方面から、色んな要望、それからご意見あると思います。どこの施設でもやはりお子さんのいるお母さんは本当に若いし、運動したい、いう方がかなりいらっしゃると思うのですが、そういう面では本当にあの、必要なものなのですが、社会的に女性の力をお借りしたいという時代でございます。総理大臣も言っているぐらいです。

ということで、よろしいでしょうか？他にございませんか？

それでは次に移らせていただきます。

(3) 平成26年度スポーツ振興室主要事業報告について

事務局から資料3に基づき説明する。・・・・・・・・・・永田主査

<質疑>

会 長：プロ野球の開催が8月にございました。あの時に観客数、約3万人、野球場で収容人員、どのぐらいの、何割ぐらいの観客数だったのでしょうか？

事務局：野球場そのものは1回の開催で、最高入って21,000人になります。そういった意味からすると、1日の開催が、初日が29,978名のうち、およそ16,000人が5日の日、およそ13,000人が6日の日というように内訳を聞いてございます。そういった意味では、7割、6割程度といったところです。

会 長：前年と比べてどうだったでしょうか？

事務局：前年は、土日開催だったものですから、4万人近く入ったという風に聞いております。

今年は平日開催だったということがありまして若干、少なかったというように聞いてございます。

会 長：そうですね、ありがとうございます。

また、始まる時はいいのですが、終了したあとの交通状況っていうのは、交通整理っていうのは、あそこもうちょっとスムーズに行かないのかなと、というのは私あそこで皆さんからよく聞くのが、あの、一般の方、野球と関係なく通られる方が通れないと、非常に困ると、見ていると、ガードマンの方が誘導はしているみたいなのですが、その誘導の仕方もちょっと、もうちょっと仕方がうまくできないのかな、誘導の仕方がうまくできないのかな、スムーズに交通の流れというものをもうちょっとできないのかなという声を何人かから聞きましたので、お願いしておきたいという風に思います。

委 員：あの、昨日の新聞等にも出ていたのですが、色々、サッカーの方でプリンスリーグとかクラブリーグ選手権とか、あとは新聞の方によると、サッカー人口が札幌に次いで一番多い中で、あの、プロの公式戦ができるだけのものが、十勝っていうか、帯広にはないものですから、やはり、今後を考えて、今そして、十勝フェアスカイがああ、道リーグ勝ち抜いて、次のブロックリーグに勝てば今度、JSF というプロの手前まで行ける権利を保持したもんですから、少しずつハードにして行くのも、今後、考えられた方がいいんじゃないかなと思ひまして、プロサッカーチームによるサッカーフェスタも継続開催になりますので、何とか札幌に次いで、公式戦を帯広でもできるような形で、今すぐではないですけど、長い目で考えていただけないかなと思ひまして、それだけのベースと子どもたちはたくさんいますので、ぜひ、検討の方を野球並びに、お願いします。

事務局：J2以上のサッカーの日本サッカーリーグを行うためには、屋根付きスタンド席と芝生席に今なっているところに、固定席で客席を設けなきゃならない、ということで、全体で17,000席が必要だという風な条件でございます。

ナイター設備については、ある程度緩和条件があるんですけども、いずれにしても、そのハード整備についてはかなりの施設改修が必要になるということがございまして、まだ一気に手を付けるということには、なかなかならないということになっています。いずれにしても今のご意見は、貴重なご意見と思ひます。またあの、先ほどの総合体育館のお話ございましたけれども、総合体育館もサッカーに関してはフットサルのFリーグが開催できるには、ちょっと面積が足りません。

そういった意味でフットサルも今年プレシーズンマッチを行うのがせいぜいでございまして、公式戦ができないということになっていまして、今回スムーズに総合体育館が改修できれば、そういった施設にも対応できるかなとは思っておりますけども、これもちょっと課題になってくるということではございます。

委 員：そんなに遠くない未来にコンサドーレも北海道の場合、税金が使われておりますので、

ぜひ札幌だけじゃなく、帯広でもコンサドーレの試合を子どもたちに地元で見せてやりたいなと思ひまして、次回の5カ年計画にもなんとか組み込んでいけるようお願いいたします。

事務局：課題とさせていただきますと思います。

4. 審議事項

(1) 平成26年度帯広市スポーツ賞・スポーツ奨励賞の選考について

事務局から選考資料1 推薦要領を説明する。・・・・・・・・・・・・・・・・西尾主幹

専門部会長から選考結果の報告を説明する。・・・・・・・・・・・・・・・・武士沢部会長

<質疑>

特になし

事務局からスポーツ賞・スポーツ奨励賞に係る今後の日程について説明する。

・・・・・・・・高橋主査

5. その他

特になし

6. 閉 会

20:00